

# 1 イロハのテスト

あああああ<sup>イ</sup>「イ」の記号あああああ「ロ」の記号あああああ○付きの「ハ」あああああ<sup>(三)</sup>たてかっこの「ニ」  
あああああよこかっこの「ホ」<sup>(ホ)</sup>あああああ二重線の「ハ」あああああ波線の「ト」あああああイロハの  
十二番目の文字あああああ

ワ

「カ」はイロハ順で十四番目の文字で、その次の「ヨ」はイロハ順で十五番目の文字である。

傍線部イは「設問 ref」による『イ』の記号「である」。

傍線部ロは「設問 ref」による『ロ』の記号「である」。

傍線部①は「設問 ref」による○付きの『ハ』である。

傍線部(ニ)は「設問 ref」によるたてかっこの『ニ』である。

傍線部ホは「設問 ref」によるよこかっこの『ホ』である。

傍線部へは「設問 ref」による二重線の『ハ』である。

傍線部トは「設問 ref」による波線の『ト』である。

傍線部ヲは「設問 ref」によるイロハの十二番目の文字「である」。

空欄ワは「設問 ref」によるイロハの『ワ』である。

傍線部へは「イロハ ref」による二重線の『ハ』である。

空欄ワは「イロハ ref」によるイロハの『ワ』である。

## 2 いろいろのテスト

あああああ<sup>う</sup>「」の記号あああああ<sup>ろ</sup>「」の記号あああああ○付きの「は」の記号あああああ<sup>たてかっこ</sup>  
の「に」あああああ<sup>ほ</sup>「か」の「ほ」あああああ<sup>二重線</sup>「へ」あああああ<sup>波線</sup>「と」あああああ<sup>を</sup>  
いろいろの十二番目あああああ **わ**

「か」はいろいろは順で十四番目の文字である。

傍線部①は「設問 ref による『』の記号」である。

傍線部ろは「設問 ref による『ろ』の記号」である。

傍線部④は「設問 ref による○付きの『は』の記号」である。

傍線部(じ)は「設問 ref によるたてかっこの『じ』」である。

傍線部(ほ)は「設問 ref によるよこかっこの『ほ』」である。

傍線部へは「設問 ref による二重線の『へ』」である。

傍線部とは「設問 ref による波線の『と』」である。

傍線部をは「設問 ref によるいろいろの十二番目」である。

空欄わは「設問 ref によるいろいろの『わ』」である。

傍線部へは「いろいろは ref による二重線の『へ』」である。

空欄わは「いろいろは ref によるいろいろの『わ』」である。

### 3 アイウエオのテスト

あああああ<sup>ア</sup>ア<sup>イ</sup>の記号あああああ<sup>ウ</sup>ウ<sup>エ</sup>の記号あああああ○付きの「ウ」の記号あああああ<sup>オ</sup>この「オ」あああああ<sup>カ</sup>二重線の「カ」ああああ<sup>キ</sup>波線の「キ」ああああ  
アイウの十二番目ああああ<sup>シ</sup>ス

「セ」は五十音順で十四番目の文字である。

傍線部アは「設問 ref」による『ア』の記号」である。

傍線部イは「設問 ref」による『イ』の記号」である。

傍線部<sup>ウ</sup>は「設問 ref」による○付きの『ウ』の記号」である。

傍線部(エ)は「設問 ref」によるたてかっこの『エ』である。

傍線部オは「設問 ref」によるよこかっこの『オ』である。

傍線部カは「設問 ref」による二重線の『カ』である。

傍線部キは「設問 ref」による波線の『キ』である。

傍線部シは「設問 ref」によるアイウの十二番目」である。

空欄スは「設問 ref」によるアイウの『ス』である。

傍線部カは「アイウ ref」による二重線の『カ』である。

空欄スは「アイウ ref」によるアイウの『ス』である。

#### 4 あいうえおのテスト

あああああ「あ<sup>あ</sup>」の記号あああああ「い<sup>い</sup>」の記号あああああ○付きの「う」の記号あああああ<sup>え</sup>たてかっこ  
の「え」あああああよこかっこの「お」あああああ<sup>か</sup>二重線の「か」あああああ<sup>き</sup>波線の「き」あああああ  
あいうの十二番目の波線あああああ<sup>し</sup>  
す

「せ」は五十音順で十四番目の文字である。

傍線部あは「設問 reif による『あ』の記号」である。

傍線部いは「設問 reif による『い』の記号」である。

傍線部③は「設問 reif による○付きの『う』の記号」である。

傍線部(え)は「設問 reif によるたてかっこの『え』」である。

傍線部(お)は「設問 reif によるよこかっこの『お』」である。

傍線部かは「設問 reif による二重線の『か』」である。

傍線部きは「設問 reif による波線の『き』」である。

傍線部しは「設問 reif によるあいうの十二番目」である。

空欄すは「設問 reif によるあいうの『す』」である。

傍線部かは「あいう reif による二重線の『か』」である。

空欄すは「あいう reif によるあいうの『す』」である。

## 5 漢数字のテスト 1

あああああ漢数字の「一」<sup>(一)</sup>あああああ漢数字の「二」<sup>(二)</sup>あああああ漢数字の「三」<sup>(三)</sup>あああああ漢数字の「四」<sup>(四)</sup>

の「四」<sup>(五)</sup>あああああよこかっこの「五」<sup>(六)</sup>あああああ二重線の「六」<sup>(七)</sup>あああああ波線の「七」<sup>(八)</sup>あああああ漢数字の十二番目の波線<sup>(九)</sup>あああああ

「十四」は漢数字で十四番目の文字である。

(十)

(十一)

(十二)

あああああ○付きの「二十一」<sup>(十三)</sup>あああああたてかっこの「二十二」<sup>(十四)</sup>あああああよこかっこの「二十三」<sup>(十五)</sup>

傍線部一は「漢数字設問 ref」による漢数字の『一』である。

傍線部二は「漢数字設問 ref」による漢数字の『二』である。

傍線部三は「漢数字設問 ref」による○付きの『三』である。

傍線部四は「漢数字設問 ref」によるたてかっこの『四』である。

傍線部五は「漢数字設問 ref」によるよこかっこの『五』である。

傍線部六は「漢数字設問 ref」による二重線の『六』である。

傍線部七は「漢数字設問 ref」による波線の『七』である。

傍線部十二は「漢数字設問 ref」による漢数字の十二番目である。

空欄十三は「漢数字設問 ref」による漢数字の『十三』である。

傍線部(十)は「漢数字設問 ref」による○付きの『二十一』である。

傍線部(十二)は「漢数字設問 ref」によるたてかっこの『二十二』である。

傍線部(二十三)は「漢数字設問 ref」によるよこかっこの『二十三』である。

傍線部一は「設問 ref」による漢数字の『一』である。

傍線部二は「設問 ref」による漢数字の『二』である。

傍線部三は「設問 ref」による○付きの『三』である。

傍線部四は「設問 ref」によるたてかっこの『四』である。

傍線部五は「設問 ref」によるよこかっこの『五』である。

傍線部六は「設問 ref」による二重線の『六』である。

傍線部七は「設問 ref」による漢数字の十二番目である。

空欄十は「設問 ref」による漢数字の『十三』である。

傍線部(十)は「設問 ref」による○付きの『二十一』である。

傍線部(十二)は「設問 ref」によるたてかっこの『二十二』である。

傍線部(十三)は「設問 ref」によるよこかっこの『二十三』である。

傍線部(十四)は「設問 ref」によるよこかっこの『二十三』である。

傍線部六は「漢数字乙 ref」による二重線の『六』である。

空欄十三は「漢数字乙 ref」による漢数字の『十三』である。

## 6 漢数字のテスト1

ああああ漢数字の「一」ああああ漢数字の「二」ああああ○付きの「三」ああああたてかっこの「四」

(五)

六

七

の「四」ああああよこかっこの「五」ああああ二重線の「六」ああああ波線の「七」ああああ漢数字の二番目の波線ああああ

1111

「一四」は漢数字の一四番目の数字であり、

(111)

(1111)

1101

ああああ○付きの「二二」ああああたてかっこの「二二」ああああよこかっこの「二二」

傍線部一は「漢数字設問 ref」による漢数字の『一』である。

傍線部二は「漢数字設問 ref」による漢数字の『二』である。

傍線部三は「漢数字設問 ref」による○付きの『三』である。

傍線部(四)は「漢数字設問 ref」によるたてかっこの『四』である。

傍線部(五)は「漢数字設問 ref」によるよこかっこの『五』である。

傍線部六は「漢数字設問 ref」による二重線の『六』である。

傍線部七は「漢数字設問 ref」による波線の『七』である。

傍線部一二は「漢数字設問 ref」による漢数字の一二番目の波線」である。

空欄一三は「漢数字設問 ref」による漢数字の『一三』である。

傍線部(一)は「漢数字設問 ref」による○付きの『二二』である。

傍線部(二二)は「漢数字設問 ref」によるたてかっこの『二二』である。

傍線部(二三)は「漢数字設問 ref」によるよこかっこの『二三』である。

傍線部一は「設問 ref」による漢数字の『一』である。

傍線部二は「設問 ref」による漢数字の『二』である。

傍線部(三)は「設問 ref」による○付きの『三』である。

傍線部(四)は「設問 ref」によるたてかっこの『四』である。

傍線部(五)は「設問 ref」によるよこかっこの『五』である。

傍線部六は「設問 ref」による二重線の『六』である。

傍線部一は「設問 ref」による漢数字の一二番目」である。

傍線部(一)は「設問 ref」による○付きの『二二』である。

傍線部(二)は「設問 ref」によるたてかっこの『二二』である。

傍線部(三)は「設問 ref」によるよこかっこの『二三』である。

空欄一は「設問 ref」による漢数字の『一三』である。

傍線部六は「漢数字甲 ref」による二重線の『六』である。

空欄一三は「漢数字甲 ref」による漢数字の『一三』である。

## 7 小文字のアルファベットのテスト

ああああアルファベットの小文字の「a」ああああアルファベットの小文字の「b」ああああ  
○付きの「c」ああああたてかっこの「d」ああああよこかっこの「e」ああああ二重線の「f」  
ああああ波線の「g」ああああアルファベットの小文字の十二番目の波線ああああ **m**

「は」はアルファベットで十四番目の文字である。

ああああ○付きの「a」ああああ○付きの「b」ああああ○付きの「c」ああああ○付きの「d」  
ああああ○付きの「e」ああああ○付きの「f」ああああ○付きの「g」

傍線部 a は「設問 ref」によるアルファベットの小文字の「a」である。

傍線部 b は「設問 ref」によるアルファベットの小文字の「b」である。

傍線部 c は「設問 ref」による○付きの「c」である。

傍線部 d は「設問 ref」によるたてかっこの「d」である。

傍線部 e は「設問 ref」によるよこかっこの「e」である。

傍線部 f は「設問 ref」による二重線の「f」である。

傍線部 g は「設問 ref」による波線の「g」である。

傍線部 1 は「設問 ref」によるアルファベットの小文字の十二番目である。

空欄 m は「設問 ref」によるアルファベットの小文字の「m」である。

傍線部 f は「abcref」による二重線の「f」である。

空欄 m は「abcref」によるアルファベットの小文字の「m」である。

## 8 大文字のアルファベットのテスト

- あああああアルファベットの大文字の「A」<sup>A</sup>ああああアルファベットの大文字の「B」<sup>B</sup>ああああアルファベットの大文字の「C」<sup>C</sup>ああああアルファベットの大文字の「D」<sup>D</sup>ああああアルファベットの大文字の「E」<sup>E</sup>ああああアルファベットの大文字の「F」<sup>F</sup>
- 付きの「C」<sup>C</sup>ああああたてかっこの「D」<sup>D</sup>ああああよこかっこの「E」<sup>E</sup>ああああ二重線の「F」<sup>F</sup>
- ああああ波線の「G」<sup>G</sup>ああああアルファベットの大文字の「二番目の波線」<sup>L</sup>ああああ
- ZはアルファベットのMの大文字の「四番目」である。
- あああああ○付きの「a」<sup>A</sup>ああああ○付きの「b」<sup>B</sup>ああああ○付きの「c」<sup>C</sup>ああああ○付きの「d」<sup>D</sup>
- あああああ○付きの「e」<sup>E</sup>ああああ○付きの「f」<sup>F</sup>ああああ○付きの「g」<sup>G</sup>
- 傍線部 A は「設問 ref によるアルファベットの大文字の『A』」である。  
 傍線部 B は「設問 ref によるアルファベットの大文字の『B』」である。  
 傍線部 C は「設問 ref による○付きの『C』」である。  
 傍線部 D は「設問 ref によるたてかっこの『D』」である。  
 傍線部 E は「設問 ref によるよこかっこの『E』」である。  
 傍線部 F は「設問 ref による二重線の『F』」である。  
 傍線部 G は「設問 ref による波線の『G』」である。  
 傍線部 L は「設問 ref によるアルファベット大文字の「二番目」」である。  
 空欄 M は「設問 ref によるアルファベットの大文字の『M』」である。  
 傍線部 F は「ABCref による二重線の『F』」である。  
 空欄 M は「ABCref によるアルファベットの大文字の『M』」である。



## 9 全角小文字のアルファベットのテスト

ああああ全角アルファベットの小文字の「a」ああああ全角アルファベットの小文字の「b」  
ああああ○付きの「c」ああああたてかっこの「d」ああああよこかっこの「e」ああああ  
二重線の「f」ああああ波線の「g」ああああ全角アルファベットの小文字の二番目の波線ああ  
ああ

nは全角アルファベットで一四番目の文字である。

傍線部 a は「設問 ref」による全角アルファベットの小文字の『a』である。

傍線部 b は「設問 ref」による全角アルファベットの小文字の『b』である。

傍線部 © は「設問 ref」による○付きの『c』である。

傍線部 (d) は「設問 ref」によるたてかっこの『d』である。

傍線部 (e) は「設問 ref」によるよこかっこの『e』である。

傍線部 f は「設問 ref」による二重線小文字の『f』である。

傍線部 g は「設問 ref」による波線小文字の『g』である。

傍線部 l は「設問 ref」による全角アルファベット小文字の二番目「l」である。

空欄 m は「設問 ref」による全角アルファベット小文字の『m』である。

傍線部 f は「a b c ref」による二重線小文字の『f』である。

空欄 m は「a b c ref」による全角アルファベット小文字の『m』である。

## 10 全角大文字のアルファベットのテスト

あああああ<sup>A</sup>全角アルファベットの大文字の「A」あああああ<sup>B</sup>全角アルファベットの大文字の「B」  
あああああ<sup>(D)</sup>○付きの「C」あああああ<sup>(E)</sup>たてかっこの「D」あああああ<sup>(E)</sup>よこかっこの「E」あああああ  
<sup>F</sup>二重線の「F」あああああ<sup>G</sup>波線の「G」あああああ<sup>L</sup>全角アルファベットの大文字の「二番目の波線」ああ  
あああ M

Nは全角アルファベットで一四番目の文字である。

傍線部 A は「設問 ref」による全角アルファベットの大文字の『A』である。

傍線部 B は「設問 ref」による全角アルファベットの大文字の『B』である。

傍線部 © は「設問 ref」による○付きの『C』である。

傍線部 (D) は「設問 ref」によるたてかっこの『D』である。

傍線部 (E) は「設問 ref」によるよこかっこの『E』である。

傍線部 F は「設問 ref」による二重線の『F』である。

傍線部 G は「設問 ref」による波線の『G』である。

傍線部 L は「設問 ref」による全角アルファベット大文字の「二番目」である。

空欄 M は「設問 ref」による全角アルファベット大文字の『M』である。

傍線部 F は「ABC ref」による二重線の『F』である。

空欄 M は「ABC ref」による全角アルファベット大文字の『M』である。

## 11 アラビア数字のテスト

ああああ数字の「1」ああああ数字の「2」ああああ○付きの「3」ああああたてかっこの「4」  
(5) ああああよこかっこの「5」ああああ二重線の「6」ああああ波線の「7」ああああ12の波線(88)

ああああ

**13**

ああああ

**20**

ああああ○付きの「88」

傍線部 1 は「数字設問 ref」による数字の「1」である。

傍線部 2 は「数字設問 ref」による数字の「2」である。

傍線部 ③ は「数字設問 ref」による○付きの「3」である。

傍線部 (4) は「数字設問 ref」によるたてかっこの「4」である。

傍線部 (5) は「数字設問 ref」によるよこかっこの「5」である。

傍線部 6 は「数字設問 ref」による二重線の「6」である。

傍線部 7 は「数字設問 ref」による波線の「7」である。

傍線部 12 は「数字設問 ref」による「12」である。

空欄 13 は「数字設問 ref」による空欄の「13」である。

空欄 20 は「数字設問 ref」による空欄の「20」である。

空欄 (13) は「数字設問 ref」によるたてかっこの「13」である。

空欄 (20) は「数字設問 ref」によるよこかっこの「20」である。

傍線部 ⑧ は「数字設問 ref」による○付きの「88」である。

傍線部 1 は「設問 ref」による数字の「1」である。

傍線部 2 は「設問 ref」による数字の「2」である。

傍線部 ③ は「設問 ref」による○付きの「3」である。

傍線部 (4) は「設問 ref」によるたてかっこの「4」である。

傍線部 (5) は「設問 ref」によるよこかっこの「5」である。

傍線部 6 は「設問 ref」による二重線の「6」である。

傍線部 7 は「設問 ref」による波線の「7」である。

傍線部 12 は「設問 ref」による「12」の波線「12」である。

空欄 (13) は「設問 ref」によるたてかっこの「13」である。

空欄 (20) は「設問 ref」によるよこかっこの「20」である。

傍線部 ⑧ は「設問 ref」による○付きの「88」である。

空欄 13 は「設問 ref」による空欄の「13」である。

空欄 20 は「設問 ref」による空欄の「20」である。

傍線部 6 は「数字 ref」による二重線の「6」である。

空欄 13 は「数字 ref」による空欄の「13」である。

空欄 20 は「数字 ref」による空欄の「20」である。

## 12 丸数字のテスト

- ああああ丸数字の「1」ああああ丸数字の「2」ああああ○付きの「3」ああああたてかっこの「4」  
ああああよこかっこの「5」ああああ二重線の「6」ああああ波線の「7」ああああ12の波線
- ああああ  ああああ
- 傍線部  は「数字設問 ref」による数字の『1』である。
- 傍線部  は「数字設問 ref」による○付きの『3』である。
- 傍線部  は「数字設問 ref」によるたてかっこの『4』である。
- 傍線部  は「数字設問 ref」によるよこかっこの『5』である。
- 傍線部  は「数字設問 ref」による二重線の『6』である。
- 傍線部  は「数字設問 ref」による波線の『7』である。
- 傍線部  は「数字設問 ref」による『12』である。
- 空欄  は「数字設問 ref」による空欄の『13』である。
- 空欄  は「数字設問 ref」による空欄の『20』である。
- 傍線部  は「設問 ref」による丸数字の『1』である。
- 傍線部  は「設問 ref」による丸数字の『2』である。
- 傍線部  は「設問 ref」による○付きの『3』である。
- 傍線部  は「設問 ref」によるたてかっこの『4』である。
- 傍線部  は「設問 ref」によるよこかっこの『5』である。
- 傍線部  は「設問 ref」による二重線の『6』である。
- 傍線部  は「設問 ref」による波線の『7』である。
- 傍線部  は「設問 ref」による『12』の波線である。
- 空欄  は「設問 ref」による空欄の『13』である。
- 空欄  は「設問 ref」による空欄の『20』である。
- 傍線部  は「丸数字 ref」による二重線の『6』である。
- 空欄  は「丸数字 ref」による空欄の『13』である。
- 空欄  は「丸数字 ref」による空欄の『30』である。
- 傍線部  は「数字 ref」による二重線の『6』である。
- 空欄  は「数字 ref」による空欄の『13』である。
- 空欄  は「数字 ref」による空欄の『20』である。

### 13 全角数字のテスト

ああああ<sup>1</sup>全角数字の「1」ああああ<sup>2</sup>全角数字の「2」ああああ<sup>3</sup>丸囲み全角数字の「3」あああ  
 あたて<sup>(4)</sup>かっこの「4」ああああ<sup>(5)</sup>よこかっこの「5」ああああ<sup>6</sup>二重線の「6」ああああ<sup>7</sup>波線の「7」  
 ああ<sup>8</sup>ああ<sup>9</sup>

下線部 1 は「設問 ref」による全角数字の「1」である。

下線部 2 は「設問 ref」による全角数字の「2」である。

下線部 ③ は「設問 ref」による丸囲み全角数字の「3」である。

下線部 (4) は「設問 ref」によるたてかっこ全角数字の「4」である。

下線部 (5) は「設問 ref」によるよこかっこ全角数字の「5」である。

下線部 6 は「設問 ref」による二重線の「6」である。

下線部 7 は「設問 ref」による波線の「7」である。

空欄 8 は「設問 ref」による空欄の「8」である。

空欄 9 は「設問 ref」による空欄の「9」である。

下線部 6 は「全角数字 ref」による二重線の「6」である。

空欄 8 は「全角数字 ref」による空欄の「8」である。

空欄 9 は「全角数字 ref」による空欄の「9」である。